

平成 29 年度活動助成 活動実績報告書

団体名	「やさしい日本語」有志の会。
活動テーマ	①「やさしい日本語」を使った外国籍住民のための防災出前講座 ②「やさしい日本語」勉強会



①「やさしい日本語」を使った外国籍住民のための防災出前講座

(上左：2018年1月30・31日大分県佐伯市米水津、上右：2月6日京都府せいかグローバルネット)

この防災出前講座は、外国人に防災の基礎知識を身に付けてもらうだけでなく、外国人の周りには日本人に事前講座を行い、災害時の外国人の陥る状況や、災害情報が届きにくい現状、災害時に外国人に正確な情報を伝える「やさしい日本語」の紹介を行ないます。また、講習内でグループワークを取り入れ、外国人とのコミュニケーションも重要な目的にしていることが特徴です。

米水津で行った防災出前講座では、11社から中国人、ベトナム人の研修生61人に2日に分けて防災教育を行ないましたが、市職・商工会、消防署や警察署からも参加をいただき、地域として取り組んでいただきました。この講座をきっかけに市の補助金で防災セットを購入し、研修生の各寮に貸与・配置することができたほか、次年度予算では外国語の防災マップ作成が始まるなど、地域の防災にも貢献できたことは大きな成果です。

②「やさしい日本語」勉強会 (第10回2017年8月3日、第12回2018年1月19日)

勉強会は3年間で全13回の勉強会を実施しました。内容は基礎や実践練習、活用事例や新情報など様々でしたが、ともに学ぶだけでなく、たくさんの人々とつながりを持つことができました。20名足らずの小さな勉強会ですが、東京、愛知、広島、大分など遠方からも参加があり、少しずつですが参加者数も増えています。皆さんからも今後の継続を望むお声をいただいております。外国籍住民のための防災出前講座とともに、この「やさしい日本語」勉強会を活動の大きな柱として、これからも継続していきたいと考えています。